



道政だより

発行：すだ靖子連合後援会 tel 011-691-8585 fax 011-691-8586

〒006-0022札幌市手稲区手稲本町2-2-2-12 クリスタルハイツ1F



ドクターヘリを視察し、
操縦席に座る



上田市長から激励を受ける



第2定例会予算特別委員会で質問

皆さん、こんにちは

小泉内閣は間もなく終了予定ですが、この間重要な法案が次々通され、益々国民の生活は厳しさを増しています。医療・年金・税制度改革では、特に高齢者の負担が増え、生活が苦しいとの相談が何件も寄せられています。

夕張市は財政立て直しができず、赤字再建団体に移行が決定しました。炭鉱の閉山により人口が急減したことや、急激な交付税減など様々な要因があります。旧産炭地域は似た状況にあり、芦別市や赤平市等財政状況の調査を行っているところです。

道は、財政難を理由に福祉や教育、医療の分野まで一律予算を削減しました。高橋知事の冷酷な政治姿勢が全面に出ています。来年の統一自治体選挙では道政の奪還が必要です。そして参議院選挙を勝利して政権交代の道筋を築き、次回の衆議院選挙では民主党へ政権を任せて頂き、安心な社会を目指しましょう。

私、すだ靖子は一人でも多く支援の輪が広がるよう、地域を回り政策を訴えています。道民の皆さんが安心して暮らせる社会を築いて行きます。

北海道議会議員 すだ靖子

エッセイ

自転車でGOOGO!

初めて自転車に乗ったのは小5の時に、真駒内に引っ越してからです。当時は住宅もまばらで道路は舗装され、自転車の練習には最適な環境でした。

暫く、父の黒い大きな自転車で三角乗りで、野山を走っていました。そのうちサドルに座りたく、スピードを上げてまたがった時は大人になった爽快感で一杯でした。危険が迫ったら転んで止めて、いつも手足は赤チンだらけ、乱暴でした。

議員になった当初、よく自転車で地域のあいさつ回りをしました。最初は元気で、坂がきつく回り終えないうちに体力が限界を超え、途方にくれたものです。電動自転車を買おうかなと真剣に考えました。

でも、自転車は有酸素運動であり、心肺機能を高め運動不足の解消にもなり、積極的に自転車に乗ろうと思えば、今も近場は利用しています。

40年前は、自転車は車道でしたが、事故が多発し警

察の指導で歩道を走る習慣になりました。今、歩道を走る自転車と歩行者との接触事故がどんどん増えています。

すれすれに走り去る自転車にヒヤッとした事は何回もあります。

自転車対人の人身事故の状況ですが、平成17年度は全国で2,435件、札幌では9件発生しています。これは事故届件数で、実際には当て逃げや泣き寝入り

解などを含めかなりの件数があると思われれます。「はい道新」にも苦情はよく掲載されています。

交通事情が変わってきている現在は、やはり自転車と歩行者の分離が必要です。道内市町村で自転車と歩行者を全て分離している所はまだありません。札幌市も中心部で一時試験的に車道を区切り、自転車専用にしていました。

歩道の住み分けや自転車専用道路の整備など行い、安心して歩ける、また安心して自転車で走れる、そんな街づくりを望みます。



靖子のプロフィール

- 1952年 札幌市生まれ
- 1970年 札幌北斗高校卒業
- 1996年 全電通札幌圏支部執行委員、札幌地区連合女性委員会副委員長
- 1998年 N T T 労組北海道支部執行委員
- 2001年 連合北海道女性委員会委員長
- 2002年 N T T 料金札幌センタ勤務
- 2003年 北海道議会議員選挙で初当選
- 現在 保健福祉常任委員会理事
食と観光特別委員会委員
民主党手稲副代表

すだ靖子

第3回親睦パークゴルフ大会
& 焼肉パーティー

日時:2006年9月16日(水)
受付/8:30 開会式/9:00

場所:パーク・ワン
手稲区前田588-11(森林公園東側)

会費:2,000円
(プレー代、昼食代、ワンドリンク付き)

◀お申し込み・お問い合わせ先▶

すだ事務所 ☎691-8585



知床の自然を守ろう

バイオトイレの設置を

昨年、知床が世界自然遺産に指定されました。知床にはオジロワシやシマフクロウ、高山植物等、希少動植物が多数生息し、これからは一層貴重な知床の自然を守り抜くことが求められます。

先日、道議団の仲間と私すだ靖子が羅臼岳を視察登山してきたその報告です。

世界遺産に登録されてから登山客が増え、トイレの問題が一層深刻になっているからです。登山口のトイレの

他には、標高1、661mを往復するのに通常7、8時間要する羅臼岳登山道には一つもありません。

是非、バイオトイレを2ヶ所設置したく、ソーラーで発電できる条件の良い設置場所を確認しながらの行程です。一つ目は3合目あたりの極楽平、平地が広がり日照時間も安定していて電気の供給が十分確保できそうです。二つ目は9合目あたりの羅臼平、ここはテントを張って



高山植物の岩ひげ

一泊し、翌朝縦走する登山者が多い場所です。はい松が広く茂り、しゃがむと姿が隠れ、格好のトイレになっています。ティッシュが散乱しています。ティッシュの成分に加え、一ヶ所に集中する人間の糞尿も生態系に悪影響を与えます。この羅臼平にもトイレは必要です。これから登山

シーズンは最高潮を迎える、もっと最悪で悲惨な状況が待ち受けていると、随行の地元の方が語っていました。バイオトイレの設置場所は二ヶ所共決定！実現に向けて道との交渉にこれから入ります。雲に隠れる頂上へ登頂にはもう一頑張りです。

と思ったのは大間違いで、急斜面を大小の岩石が延々と続き、這いつくばって一つ一つクリアします。でも岩間には鈴蘭に似た岩ヒゲやピントクのツガザクラが可憐に咲き、心を和ませてくれます。頂上は切り立った岩石3畳間程で狭く、おまけに奇跡



羅臼岳中腹から極楽平を見おろす

的に雲が晴れ下界が一望でき、立ち上がるのが恐怖でした。登頂で体力を使い果たし、下山の行程は無残なもので仲間助けられ10時間半かかり、ようやく完登しました。一生の思い出登山です。

シリーズ 少子社会の今とこれから



道立中央乳児院

銭函の道立中央乳児院には母親等が病気で育てられなくなった乳幼児40名程が養育されています。小児総合保健セン

ターに隣接していることから、病・虚弱児が多く4割を占めます。病気がちで手のかかる乳幼児を手厚く養育するため、職員数は国の基準を

道立中央乳児院の行方

上回った配置です。先日中央乳児院を訪問、職員との対談や乳幼児が育つ環境を見学してきました。職員は乳幼児に対し、目を見て話しかけた

り抱きしめたりと「ぬくもり」や「ふれあい」を大切に「愛着形成」を図ります。これは人格形成に大変重要なことです。



赤ちゃんと一緒に

しかし、民間経営は利益を追求することから、職員の配置が国の規定配置になる恐れがあります。十分な養育を受けられない可能性ががあります。

第2定例会では3回に渡り、中央乳児院は今までど

おり道立で残すべきと質問しました。道は一貫して民間移管の方向は変えませんが、乳児院を医療機関に隣接させサービスの維持・向上を図ることが出来る法人を選択するとの答弁です。親元で過ごすことができない乳幼児が、少しでもぬくもりを感じながら育つことが出来るよう、これからも道立で運営していくことを求めています。



渡部国対委員長、松木衆議と



牛乳促進キャンペーンで牛乳配り

活 動



当別道民の森で植樹



連合森林学習会で鉢呂衆議、余市の吉田町議と



AEDで心肺蘇生の練習

報 告



目中友好ホームステイのGONさん(右)とすだ夫妻



道議団と知床を視察

by Photo



老健施設でリハビリを体験



稲積町内会で消火訓練



連合の仲間と森林学習会に出発